

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: http://www.matsue-rotary.jp E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3353回例会 (令和4年5月18日・水)

今週のプログラム

5月18日(水) ゲストスピーチ

「あなたが目の不自由な方に出会ったら」

ライトハウスライブラリー しょうじ たけし
主任情報支援員 庄司 健氏

次週のプログラム

5月25日(水) 会員スピーチ

「山陰と私」

一畑バス(株)取締役 観光部長 おおたにこうすけ
大谷聡介氏(衛星クラブ)

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
6月16日(木)	松 江 東	ホテル一畑
6月20日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
6月21日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
6月23日(木)	松 江 東	ホテル一畑
6月27日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
6月28日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
6月30日(木)	松 江 東	ホテル一畑

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ピジター受付なし)もごさいますので事前に事務局へ確認願います。

2022年5月～6月の予定

- 5月11日(水) 定例理事会
- 5月23日(月) 松江4クラブ現・次期会長幹事会
松江エクセルホテル東急2F オーク
18:30～
- 5月27日(金) 新旧クラブ協議会
18:30～19:20
会 議 ラマージュ
19:20～20:30
懇親会 松
- 6月1日(水) 定例理事会
- 6月8日(水) 職場訪問例会
JR西日本 後藤総合車両所見学
- 6月15日(水) 最終夜間例会 平安の間
18:30～19:00 活動報告
19:10～20:30 懇親会
※昼の例会はありません。

●●●結婚月●●●

西村 康	3日	堀江 貴	3日
藤原 孝行	5日	今井 直樹	8日
後藤 勇	10日	内田 寛	14日
景山 直観	15日	信太 秀夫	17日
谷口 正人	19日	原田 光明	22日
櫻井 誠己	24日	日光 哲弥	25日

第3352回例会記録

令和4年5月11日(水・曇り)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%) (出席免除会員含む)	前々回補正(%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	65	43	22	70.49	89.29
衛星クラブ	10	4	6	40.00	50.00

ピジター:なし

メーキャップ:谷本(松江南)、飯盛、内田、内海、尾崎、川上、菅野、艸葉、角、高梨、中川、福田
堀江、山尾(オンライン)
上田、片寄、内藤(衛星:オンライン)

会務報告

小林会長

- 衛星クラブ紹介
勝谷議長からチャーターナイト例会開催報告・お礼、今後の活動について
- 本日のスピーチは会員スピーチ
医療法人 佼真会 岡本整形外科医院 ながの まさひさ
院長 長野真久氏
- 新入会員紹介

①お名前:山田一磨様 やまだ かずま
事業所:住友生命保険(相)松江支社長
職業分類:生命保険
推薦者:永通烈士会、原田光明会員
小林祥泰会長より紹介
山田一磨様 挨拶

②お名前:棚橋 学様 たなはし まなぶ
事業所:日本航空(株)山陰支店長
職業分類:航空運輸
推薦者:小林祥泰会員、景山直観会員
小林祥泰会長より紹介
棚橋 学様 挨拶

- 岩崎陽一ガバナーより宣言書が来しました。
2022-23年度地区ガバナーノミニ(2024-25年度地区ガバナー)に岡山南ロータリークラブ さかきばら たかし
榊原 敬氏が正式決定。
職業分類:病院
生年月日:1961年10月26日

田中副幹事

- ロータリーレート変更の知らせ
5月1日より1ドル130円(現行122円)

- 5月からクールビズです。
各自体調にあわせ上着、ネクタイなしも可。
- 本日例会終了後、定例理事会開催

委員会報告

- 親睦・出席委員会
出席報告

木原親史会員

プログラム

「囲碁のススメ」

医療法人 佼真会 岡本整形外科医院

院長 ながの まさひさ 長野真久氏

ニコニコ箱

46,000 円

- 小林 (①新入会員をお祝いして。②長野会員のスピーチに。)
- 佐藤 (①山田様、棚橋様の入会を祝し！②長野会員のスピーチに！)
- 山田、棚橋 (本日入会です。よろしくお願ひ致します。)
- 永通 (本日入会の山田さん、棚橋さんを歓迎して。)
- 森岡 (本日入会の山田様、棚橋様宜しくお願ひします。)
- 今井、内田、大野、信太 (長野会員のスピーチに)

友塚 (あつという間の1年驚いております。これからも精進してまいります。)

森岡 (出席100%賞)

長岡、和田、庄谷、菅野 (誕生月)

中村、永通、景山、菅野 (入会月)

中村、谷本 (結婚月)

ベストメッセージ賞：該当者なし

司会 木村俊一郎会場監督

※第3352例会週報のニコニコ箱コメントにミスがありましたので、おわびして訂正します。

佐藤会員のコメントの中の「福会長→副会長」

【5月理事会報告】

承認事項

- ・新入会員所属委員会の件
渡辺賢二会員、山田一磨会員、棚橋 学会員は親睦・出席委員会
- ・6月15日(水)最終夜間例会(懇親会)の件
飲食あり(お酒含む)
- ・財団寄付の件
5月18日から集める。
- ・6月8日職場訪問例会開催の件

ひとこと
随想

鳥取城落城の戦いに想う



たに の ほう いち
天 野 浩 一

皆さんは鳥取城落城の物語をご存知でしょうか。羽柴秀吉の兵糧攻めはご存知と思いますが、戦の終盤は亡骸を争い食らう悲惨な状況であったことから、その全体像は広く扱われることはなかったようです。先般、この鳥取城をめぐる毛利軍(吉川経家)と織田軍(羽柴秀吉)との戦いの様子を地元の新聞社が70年ほど前に編纂した“久松戦記”に目を通す機会がありました。ウクライナ危機を彷彿とさせる戦いが印象的でしたので紹介します。

鳥取城主吉川経家は若干35歳。農民兵含め4千人を率いて戦いますが、対する羽柴秀吉勢は2万。この差は如何ともしがたく、羽柴の兵糧攻めに苦しみ抜いたあげく、毛利軍本体(広島)からの援軍も来ない、食料も届かない中、ついには籠城して4か月後に降伏。1581年10月、吉川経家と家臣の切腹で幕を下ろしました。

吉川は同年の3月に石見国の福光城から鳥取城に迎え入れられたばかりでしたので、わずか半年ちょっとの出来事でした。命を落とす瞬間まで家臣を思い武士に徹した姿に、戦国時代の城主・武士の想像を絶する覚悟に驚きました。

一方、この物語には吉川と対照的な人物として前の鳥取城主、山名豊国が登場します。山名は吉川が入城する前年の1580年、戦を嫌いあっさり

と羽柴に降伏し家臣たちから城を追いやられた人物です。兵糧攻めに耐え抜く吉川を羽柴陣営から眺め、「武士道を買くのは立派だが、私はその前に人間でありたい」とつぶやきます。

多くの犠牲者を出しながらも武士道を買き最後まで戦い抜いた吉川と、羽柴との力差を認め犠牲者が拡大しないよう早々に降伏した山名。後世、立派な武士の象徴として語り継がれ、今でも市民から称えられているのは吉川ですが、山名の名はほとんど知られていません。同じ負け戦なら悲惨な犠牲者を出さなかった山名の判断が正しかったのではないかと、称えるべきは山名ではなかったかという思いが物語から滲んできますが、まさにトップの判断の難しいところです。

侵略者羽柴から城を死守する城主吉川は、今まさにプーチンからウクライナを死守しようと奮闘するゼレンスキー大統領と重なります。侵略者に屈しない大統領の姿は、日々民間人犠牲者が増える中であっても、最後まで戦う意思を表明し高い支持率につながっています。命を懸けて自国を守ろうとするトップの姿勢に国民の共感が集まるという構図はいつの時代も同じようです。

ただ、ウクライナには悲惨な最期を遂げた鳥取城のようにならないことを祈るばかりです。

(電気供給)

岩崎陽一ガバナーより4月27日（水）松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ祝賀例会への祝辞動画をお送りいただきましたがご覧になれなかった方のためにメッセージをご披露致します。

祝 辞

この度、松江ロータリークラブが松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブをスポンサーし、2022年1月12日付けでRI理事会より認可を受けられたことに対し、心からお祝い申し上げます。

設立に至るまで、ご準備、諸手続きなど、松江ロータリークラブ小林祥泰会長と松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ勝谷有史議長のリーダーシップのもとそれぞれの会員の皆さまが精力的に取り組まれ見事に目的を達成されたことに対し、深く敬意を表するとともに厚く感謝申し上げます。

松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブは、全国で33番目の結成ですが、ロータリークラブへの移行や終結を含めると現存では26番目の衛星クラブとなります。2690地区では最初の衛星クラブです。この記念すべき素晴らしい瞬間に私がガバナーを務めてさせていただいていることは幸甚の至りであります。

スポンサークラブの松江ロータリークラブは、1952年島根県初のロータリークラブとして創立され今年で70年を迎える伝統と格式のある名門クラブです。しかしその伝統に決して胡坐^{あぐら}をかくことなく、常に前向きにクラブの活性化に取り組まれてきました。この度の衛星クラブ結成もその取り組みの一環として、若い会員特に女性会員を増やすために従来の慣習に従った硬直性を離れ「開かれたロータリークラブ」を目指されたものと受け止めています。地域性や時代性など社会の多様性やニーズに柔軟に対応し、クラブの活性化に取り組まれている姿勢には感服するばかりです。

小林会長がPETSで衛星クラブのことをお知りになり研究され、議長に就任される勝谷有史様とともに準備段階として若手ロータリアン候補者の勉強会のYRCA (Young Rotarian Candidate Association) を2021年7月に立ち上げられました。スポンサークラブ会員とYRCA会員と毎月勉強会の開催と交流を重ねられ、昨年末申請してこの度のRIからの認証に至ったとのことです。

ファースト・ペンギンという言葉があります。もともとはペンギンの群れの中から食料を得るため危険な海へ先頭で飛び込むペンギンのことですが、新しい分野に真っ先に飛び込んで何かを立ち上げる、勇気がありチャレンジ精神を持つ人のことを言います。

この度の衛星クラブの結成は、2690地区の最初の衛星クラブとしてまさにファースト・ペンギンであります。私といたしても今後のご活躍を大いに期待するとともに、地区のリーダー的存在としてますます地区を先導していただきますようお願い申し上げます。松江ロータリークラブそして松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブのますますのご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



新 入 会 員 紹 介



氏名	やまだ かずま 山田一磨
入会日	2022年5月11日
推薦者	永通烈志会員、原田光明会員
在籍していたロータリークラブ名	日向東ロータリークラブ



氏名	たなはし まなぶ 棚橋 学
入会日	2022年5月11日
推薦者	小林祥泰会員、景山直観会員
在籍していたロータリークラブ名	なし